



第2期青森圏域連携中枢都市圏ビジョンについて

これまでの経緯

名称	青森圏域連携中枢都市圏	
連携協約	令和元年12月25日	
区域	連携中枢都市：青森市 連携市町村：平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村	
計画名称	青森圏域連携中枢都市圏ビジョン（以下「ビジョン」という。）	
取組期間	令和2年度から令和6年度まで	
経過	令和2年3月23日策定（44事業） 【令和3年度】44事業→48事業 【令和4年度】48事業→52事業 【令和5年度】52事業→55事業 【令和6年度】55事業→57事業	

具体的取組

圏域全体の経済成長のけん引	17事業	地域企業ビジネス支援拠点運営事業 首都圏ビジネス支援拠点運営事業 農業移住・新規就農サポート事業 むつ湾広域連携事業（観光部会分） 物産振興事業 など
高次の都市機能の集積・強化	1事業	大学連携推進事業 （学生ビジネスアイデアコンテスト開催事業）
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	39事業	一時預かり事業・病児一時保育事業 図書館相互利用事業 新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業 消費生活相談事業 職員人事交流 など

※各分野は「連携中枢都市圏構想推進要綱（総務省）に定められた区分」

進捗状況（令和5年度時点）

連携協約項目の役割 【連携事業数】	評価値					
	A	B	C	D	-	計
1 圏域全体の経済成長のけん引 【17事業】	1 比較的順調に進捗	2	1 進捗が遅れ	0	2	16
2 高次の都市機能の集積・強化 【1事業】	1	0	0	0	0	1
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上 【37事業】	19	9	6	4	0	38
計【55事業】	31 (56.4)	11 (20.0)	7 (12.7)	4 (7.3)	2 (3.6)	55
	42 (76.4)		11 (20.0)			

全体の76.4%は、比較的順調に進捗

第2期ビジョン策定に向けて

本圏域は、歴史的にもつながりの深い青森市と東津軽郡4町村の平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村が令和元年12月に連携協約を締結し、圏域の将来像「うみ・まち・ひとを絆で結ぶ青森圏域」を目指して、令和2年3月に「青森圏域連携中枢圏ビジョン」を策定し、「圏域全体の経済成長のけん引」「高次の都市機能の集積・強化」「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」に取り組んできました。

このような中、出生数の減少や人口の流出が続いており、住民の暮らしを支え、活力ある社会・経済を維持していくためには、青森圏域における共通する課題について、各自治体の強みを生かしながら、連携してまちづくりを進めていく必要があります。

第1期の取組期間が令和6年度をもって終了することから、令和7年度を始期とした今後5年間における、圏域の中長期的将来像と各市町村が連携する具体的取組を定めるものです。

スケジュール

- 令和6年 7月25日 ビジョン懇談会※で意見聴取
- 令和6年10月 ビジョン懇談会※で意見聴取
- 令和6年12月 市町村長会議で意見聴取
- 令和7年 3月 第2期ビジョン策定

※ビジョン懇談会
ビジョンの策定又は変更にあたって、連携中枢都市が各分野の代表者や地域の関係者から意見を聞くために開催する制度上必置の懇談会